

授業科目名・形態	ソーシャルワーク演習Ⅴ	演習	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	石岡和志 脇山園恵	開講期	4年前期	単位数	1

### 【授業の主題】

相談援助に係る知識と技術について相談援助実習における学生等の個別的な体験も視野に入れつつ、集団指導並びに個別指導による実技指導を行い、実践的な知識と技術として習得できることを目指す。

実習を振り返り、学んだこと、もっと学びたかったこと、学ぶ必要があること等自分の学びの課題と目標を明らかにする。理論と実践の関係について考えられるようにする。

### 【到達目標】

- 1) 実習での学びや気づきを振り返り、事後学習としての学びの課題を整理できる。
- 2) 利用者や職員との目的をもったコミュニケーション・かかわりについて、その重要性について理解できる。
- 3) 社会福祉士の専門性について、実習での学びと経験を活かして、現実と課題について考えることができる。

### 【授業計画・内容】

- 第 1回 オリエンテーションとグループ決め
- 第 2回 実習での学びを振り返る・活かす①
- 第 3回 実習での学びを振り返る・活かす②
- 第 4回 実習での学びを振り返る・活かす③
- 第 5回 利用者との関わりからの学びを振り返り活かす①
- 第 6回 利用者との関わりからの学びを振り返り活かす②
- 第 7回 利用者との関わりからの学びを振り返り活かす③
- 第 8回 利用者との関わりからの学びを振り返り活かす④
- 第 9回 利用者を理解し、ニーズを把握し、支援すること①
- 第 10回 利用者を理解し、ニーズを把握し、支援すること②
- 第 11回 スーパービジョン
- 第 12回 人と環境の接点・相互作用
- 第 13回 社会福祉士の専門性と社会福祉援助に関わる他の専門職について
- 第 14回 ソーシャルワーカーの価値（倫理・理念・原則等）
- 第 15回 振り返り

### 【授業実施方法】

演習

### 【授業準備】

関連する科目の講義内容で学んだ制度等を再確認しておくこと。

### 【主な関連する科目】

ソーシャルワーク論、ソーシャルワーク演習

### 【教科書等】

日本社会福祉士養成校協会『社会福祉士相談援助演習』中央法規出版

### 【参考文献】

その都度紹介する。

### 【成績評価方法】

平常点 10%、レポート 30%、ロールプレイ等 60%で総合的に評価する。60%以上の得点で合格とする。

### 【学生へのメッセージ】

実習等で経験してきた様々な援助場面を振り返り、社会福祉士の専門性について、実習での学びと経験を活かして、現実と課題について考えられることが将来の進路とも繋がってくる。グループ討議や事例検討を中心とする参加型授業形態なので積極性を発揮してもらいたい。